
パラレル

ろろまる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
パラレル

【Nコード】
N7359F

【作者名】
ろろまる

【あらすじ】
目が覚めると窓に階段が繋がっていた。扉の向こうには地球とは違う別世界があった。

第一章 扉の向こう

静かな森で座り込んでお祈りをする少女がいた。

「どうか…この世界に平和を…」

第一章 く扉の向こう

「なんだろ…今の夢」

少年、大和は目をうつすら開けて呟いて目覚まし時計を見ると、学校には完全に遅刻の時刻だった。

2時間も過ぎていて学校にも行きたくない気分だった。ふと、窓の外を見てみると上に続く階段が付いていた。

「……いつ改築したんだよこの家」

気になったので窓を開けることにした。そして階段の先を見てみると、そこには大きな扉があった。怖くなった大和は母親の部屋へ行き話を聞きに行った。だが、そこには母の姿は無くどこかに行っただろうと思い、その部屋を後にした。

外に出てみると人影が一つもなかった。いつもは八百屋の声や客の声に賑やかだった商店街にも人はいなかった。

「おーい！誰かー！」

大和が大きな声で叫んでも誰一人出てこなかった。では学校はどうだ、と大和は思いすぐさま学校へ向かった。だが学校にも人はいない。生徒や先生もいつもいた野良猫もない。

悪い夢でも見ているのだと思い強く頬を抓った。すごく痛い。どうやら夢じゃ無いらしい。だが何故人が一人もいないのか不気味になり家へ帰ることにした。

大和は考えた。きつとあの扉に何かがあると思い玄関から靴を持ってきて階段を上った。

扉の前まで来たが、そこには扉が一つ置いてあるだけだった。裏にも何も無い。

「……………」

大和は黙って扉を開ける事にした。そして大和は驚愕した。扉の置くが渦を巻いてマンションや家が歪んでいる。

「！」

すると吸い込まれるかのように扉に入った。空から落ちていた。

「う…うわああああああ！！」

すると目に一つの村が飛び込んできた。

ズガガガッシャー…。

大和は一軒の家に落ちた。その家に人々が集まってきてざわつき

始めた。

「なんだなんだ!？」 「なんだいこの変な服着た子は？」

やがて騒ぎは静まり、その家の主の少女はこの村の村長にこの出来事を伝えに行った。

「ふむ……その少年が目を覚ましたらここへ連れてきなさい」

やがて数日経ち大和は目を覚ました。目をあけるとベッドの上だった。大和は見慣れない風景に疑問に思い、その家を出た。だが体中が痛い。すると村人らしき人が話しかけてきた。

「よそ者がっ…とつとと出てけ！」

ホウキで叩かれ体がさらに痛んだ。すると目の前に一人の少女が立っていた。長い髪をしていて後姿だけでもスタイルは良かった。少女は大和を家に連れて入った。

「いてて…その…ここって…？」

少女はため息をつきながら言った。

「こつちが聞きたいわよっ！あんたの方から落ちてきたんじゃないの!」

少女は顔を膨らませて言った。では扉から落ちたのは夢では無かったのだろうか。大和はその少女に謝りながら言った。

「ごめん…それでこは？」

少女は困った顔をしながら答えた。

「あんた何者なの…？…ここはパラレルワールドの外れの村よ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7359f/>

パラレル

2010年10月11日02時49分発行